

てんさい「HT50」

1 特性の概要

(1) 来歴

てんさい「HT50」は、スウェーデンのDLF BEET SEED 種子会社が育成した二倍体単胚の一代雑種系統である。DLF 社が育成した二倍体単胚雄性不稔種子親系統「HI0193×HI0440」と二倍体多胚花粉親系統「HI0931」を交配して育成した。

令和元年に北海道糖業株式会社が輸入し、令和2年から令和4年に、北見農試、十勝農試、北海道農産協会（日甜、北糖、ホクレン）において輸入品種検定試験を、北見農試、十勝農試、中央農試において各種特性検定試験を行った。また令和3年から令和4年に、全道3か所において現地検定試験を行った。

(2) 特性

「リボルタ」と比較して、「HT50」の根重、糖量はやや多い。根中糖分はほぼ並である。抽苔耐性および病害抵抗性は同等である。また、「バラトン」と比較して、根重はやや少なく、根中糖分はやや高く、糖量はほぼ並である。褐斑病抵抗性が「バラトン」の“強”に対して“かなり強”であり、「バラトン」より強い。根腐病抵抗性が「バラトン」の“やや強”に対して“強”であり、「バラトン」より強い。

表1 「HT50」の特性一覧

調査年次	令和2～4年			
品種・系統名	HT50	アマホマレ (標準品種)	リボルタ (対照品種)	バラトン (対照品種)
根重 (t/10a)	7.78 (107)	7.25 (100)	7.48 (103)	8.00 (110)
根中糖分 (%)	16.21 (98)	16.51 (100)	16.18 (98)	15.59 (94)
糖量 (kg/10a)	1,261 (105)	1,199 (100)	1,210 (101)	1,249 (104)
抽苔耐性	やや強	強	やや強	やや強
そう根病抵抗性	強	弱	強	強
褐斑病抵抗性	かなり強	中	かなり強	強
根腐病抵抗性	強	弱	強	やや強
黒根病抵抗性	やや強	中	やや強	やや強

注1) 根重、根中糖分および糖量は、北見農試、十勝農試および北海道農産協会(3か所)ののべ14か所平均で、括弧内は「アマホマレ」に対する百分比。

2) 特性検定は抽苔耐性(北見農試、令和3,4年)、そう根病抵抗性(北見農試、令和2～4年)、褐斑病抵抗性(十勝農試、令和2～4年)、根腐病抵抗性(十勝農試、令和2～4年)、黒根病抵抗性(中央農試、令和2～4年)の成績。

(3) 長所及び短所

- 長所 1 根重、糖量が、「リボルタ」に比べてやや多い。
2 褐斑病抵抗性が、「バラトン」に比べて強い“かなり強”である。
3 根腐病抵抗性が、「バラトン」に比べて強い“強”である。
- 短所 なし

(4) 用途

砂糖原料用

2 候補理由

てんさい作付け地域には、土壌の排水性が不良であるため病害の発生しやすい圃場がかなり存在し、そのような圃場では、耐病性に優れる品種が栽培されてきた。

耐病性品種の一つである「リボルタ」（平成 22 年北海道優良品種認定）は、てんさい栽培において特に問題となるテンサイそう根病、テンサイ褐斑病、テンサイ根腐病、テンサイ黒根病の 4 病害すべてに抵抗性を持つが、収量面で欠点を持つ。そこで、収量性が向上した「バラトン」（令和 2 年北海道優良品種認定）が、「リボルタ」を置き換える形で普及してきた。しかし「バラトン」は 4 病害抵抗性を持つものの、褐斑病抵抗性と根腐病抵抗性が「リボルタ」より弱い。そのため病害発生が激しい圃場では、「リボルタ」が栽培され続けている。以上のことから、「リボルタ」並の優れた耐病性と「バラトン」並の収量性を兼ね備えた品種が必要とされてきた。

「HT50」は、「リボルタ」と同じ強さの 4 病害抵抗性を持つ。また、収量性については、糖量が「リボルタ」より向上しており「バラトン」並である。

以上から、「HT50」をすべての「リボルタ」、および大部分の「バラトン」に置き換えて普及させることで、てんさい生産と農家所得の安定と向上に寄与できる。

なお、直播栽培地域では、気象等の条件によって、「バラトン」のような根重型品種が適している場合がある。そのため、「バラトン」を直播栽培地域の一部で残す。

3 普及

(1) 栽培適地

北海道

(2) 普及見込み面積

6,000ha （令和 3 年作付総面積 57,509ha 10.4%）

(3) 北海道農業試験会議（成績会議）における判定

普及奨励事項

4 その他特記事項

抽苔耐性が“やや強”であるため、早期播種や、移植栽培における育苗時の過度の低温による馴化は避ける。

5 参考データ

なし

(写真)

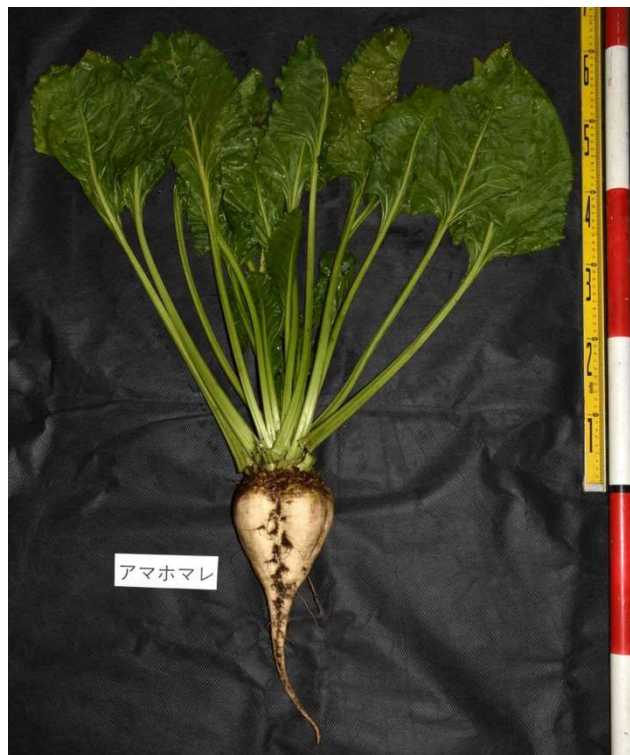
てんさい「HT50」

(令和4年10月26日撮影 北見農業試験場 直播栽培)

播種日5月6日、畦幅60cm、株間23.8cm



「HT50」



「アマホマレ」 (標準品種)



「リボルタ」 (対照品種)



「バラトン」 (対照品種)